



### どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

### 防護柵と法枠をつくります

### 地元の声

・がけ崩れによる被害が不安なため、対策をしてほしい。（地元住民）

#### 事業前

◆斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

#### 事業後

◆防護柵をつくることにより、落石や崩落した土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ（一例）

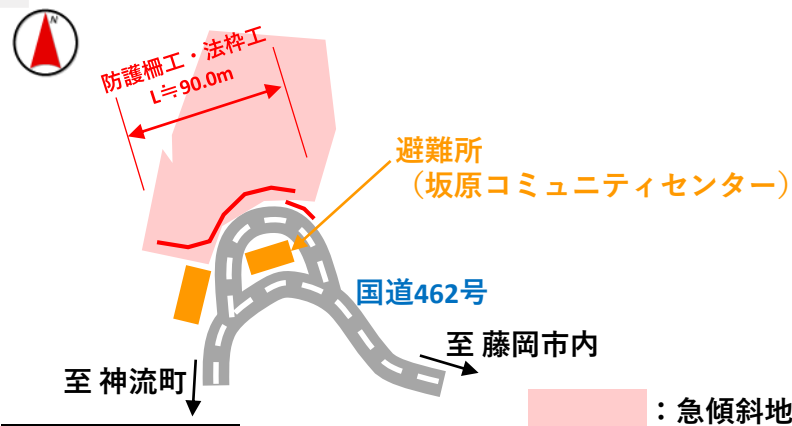
#### 事業の概要

- 事業箇所：藤岡市坂原
- 事業内容：防護柵工 延長90m・法枠工
- 事業期間：令和元年度～

※法枠（のりわく）とは、コンクリートなどで格子状の枠を設けて、斜面の風化、浸食、崩落などを防止するものです。



### 事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



事業開始 ●

● 事業完了

#### 今、何をしているか

令和6年度は、着手可能な範囲から防護柵工及び法枠工を実施します。

